

(報 告)

令和7年度京都府いじめ調査(1回目)の結果について

府のいじめ調査結果(1回目)を取りまとめましたので、下記のとおり報告
します。

令和7年10月7日

教育長 前川 明範

記

1 京都府いじめ調査の実施について(概要)

※別紙1のとおり

2 令和7年度いじめ調査(1回目)の結果について

(小・中・義務教育学校、府立学校)

※別紙2のとおり

別紙1

令和7年度いじめ調査の実施について（概要）

1 調査の目的

いじめは、いじめを受けた児童生徒の教育を受ける権利を著しく侵害する人権侵害であり、どの子どもにも、どの学校でも起こりうるものである。本調査は、いじめの実態把握を行うことにより、早期発見・早期対応に繋げていくことを目的とする。

2 調査対象

府内の全公立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の児童生徒（京都市立学校を除く。）

3 調査方法

学校は、全ての児童生徒を対象にいじめのアンケートと個別の聞き取り調査を実施する。

※ アンケートについては、原則として記名式とするが、児童生徒が氏名を書かない選択肢を残すこととする。なお、市町（組合）教育委員会の判断により無記名も可とする。

※ 特別支援学校の児童生徒及び小学校1・2・3年生に対しては、アンケートによらない調査方法も可とする。

※ 長期欠席者等については、家庭訪問等により、きめ細かな状況の把握に努めることとする。その場合、アンケートによらない調査方法も可とする。

4 調査の実施

(1) 1回目及び2回目調査は3の調査方法により、市町（組合）教育委員会が定める期日までに実施する。

(2) 1回目の調査の実施後は、アンケート・面談・日常の観察等、学校の実態に応じて令和8年1月までに追跡調査を実施する。

(3) 各学校における調査については、学校の実態に応じて適切な時期に実施する。

5 結果の集計

(1) 調査により認知したいじめについて、次の項目で集計する。

認知	児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍しているなど当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。 ※「兄弟間のいじわるやけんか、親に叱られた等家族の間で生じたケース」は除く。
解消	国の「いじめの防止等のための基本的な方針」におけるいじめが「解消している」状態に基づいて判断する。 いじめに係る行為が相当の期間止んでおり、被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないもの。（相当の期間とは、少なくとも3カ月を目安とする。）
未解消	○次の3区分で集計する。 見守り：いじめに係る行為が止んでおり、被害児童生徒も心身の苦痛を感じていないが、行為が止んでから相当の期間が経っていないもの。（相当の期間とは、少なくとも3カ月を目安とする。） 要支援：いじめに係る行為は止んでいるが、被害児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。 要指導：いじめに係る行為が止んでおらず、被害児童生徒が心身の苦痛を感じているもの。
重大事態	「いじめ防止対策推進法」第28条第1項に定める以下のいずれかの事態 ①いじめにより当該学校に在籍する児童生徒の生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑いがあると認めるもの。 ②いじめにより当該学校に在籍する児童生徒が相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑いがあると認めるもの。（「相当の期間」については、不登校の定義を踏まえ、年間30日を目安とする。） 文部科学省「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」（令和6年8月改訂） ※児童生徒や保護者からいじめにより重大な被害が生じたという申し立てがあった場合には、重大事態が発生したものとして、報告・調査等にあたること

(2) 項目ごとに「件数」を集計する。また、認知及び重大事態の「態様」について集計する。

(3) 集計には、アンケート等で把握したもの他に、教職員が日常的に把握したものも含むものとする。

6 結果の公表

(1) 学校は、調査結果について、スクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザー、学校運営協議会等の視点を取り入れた検証を行うとともに、学校だより等を活用して保護者に結果を知らせる等、学校、家庭、地域が連携していじめ問題に取り組むよう努める。

(2) この調査の報告結果については、原則公表するものとする。

別紙2 令和7年度いじめ調査(1回目)の結果について(小・中・義務教育学校)

1 アンケートの実施状況

(1) 対象児童生徒数等 (単位:人)

	学校数	在籍者数	調査数	在籍者に占める割合		未調査者数	在籍者に占める割合	
				割合	割合(内数)		割合	割合(内数)
小学校	194	53,574	53,333	99.6%	84	241	0.4%	158
中学校	96	27,453	27,284	99.4%	288	169	0.6%	74
合計	290	81,027	80,617	99.5%	372	410	0.5%	232

(単位:校)

	小学校		中学校	
	府様式	独自様式	府様式	独自様式
記名式	161	28	69	21
無記名式	5	0	6	0
合計	166	28	75	21

2 認知件数及び解消・未解消件数

(単位:件)

	小学校							中学校						
	認知	解消	未解消			重大事態		認知	解消	未解消			重大事態	
			見守り	要支援	要指導					見守り	要支援	要指導		
府立	—	—	—	—	—	—	—	8	0	2	1	5	0	0
向日市	562	0	328	66	168	0	0	103	0	96	6	1	0	0
長岡京市	924	1	475	247	201	0	0	112	0	86	14	12	0	0
大山崎町	171	0	102	28	41	0	0	17	0	0	11	6	0	0
宇治市	890	0	654	189	47	0	0	88	2	44	19	23	0	0
城陽市	643	0	501	40	102	0	0	65	0	46	11	8	0	0
八幡市	452	0	245	52	155	0	0	37	1	23	1	12	0	0
京田辺市	514	7	414	19	74	0	0	41	0	12	17	12	0	0
木津川市	881	8	793	72	8	0	0	62	1	55	4	2	0	0
久御山町	86	0	52	33	1	0	0	11	0	3	3	5	0	0
井手町	53	4	49	0	0	0	0	4	0	4	0	0	0	0
宇治田原町	22	0	6	16	0	0	0	5	0	5	0	0	0	0
精華町	338	0	306	9	23	0	0	34	0	10	6	18	0	0
相楽東部	26	0	23	3	0	0	0	3	0	2	1	0	0	0
亀岡市	674	1	515	149	9	0	0	80	3	48	15	14	0	0
南丹市	68	0	22	23	23	0	0	32	0	32	0	0	0	0
京丹波町	105	0	96	8	1	0	0	26	1	24	1	0	0	0
綾部市	274	0	210	46	18	0	0	27	1	17	9	0	0	0
福知山市	574	2	322	108	142	0	0	61	0	54	7	0	0	0
舞鶴市	583	0	545	36	2	0	0	70	0	55	14	1	0	0
宮津市	103	0	64	34	5	0	0	24	0	13	8	3	0	0
京丹後市	320	2	237	33	48	0	0	49	0	41	2	6	0	0
伊根町	17	0	17	0	0	0	0	3	0	1	0	2	0	0
与謝野町	169	0	152	14	3	0	0	14	0	12	0	2	0	0
組合	—	—	—	—	—	—	—	8	0	7	1	0	0	0
合計(A)	8,449	25	6,128	1,225	1,071	0	0	984	9	692	151	132	0	0
R6/1回目(B)	8,971	34	6,542	1,143	1,252	0	0	899	4	636	146	113	0	0
(A)-(B)	▲ 522	▲ 9	▲ 414	82	▲ 181	0	0	85	5	56	5	19	0	0

児童生徒1,000人当たりの 認知件数	小学校	R7/1回目(C)	R6/1回目(D)	(C)-(D)
		158.4	164.5	-6.1
	中学校	36.1	32.2	3.9

3 いじめの態様

態様	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	合計
小学校	4,712	1,538	2,203	968	177	489	1,188	188	473	11,936
中学校	660	111	187	82	7	42	75	56	73	1,293

- ①冷やかしからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
②仲間はずれ、集団による無視をされる。
③軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする。
④ひどくぶつかられたり、たたかれたり、蹴られたりする。
⑤金品をたかられる。
- ⑥金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。
⑦嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。
⑧パソコンや携帯電話・スマートフォンで、誹謗中傷や嫌なことをされる。
⑨その他

4 未調査者の状況

理由	小学	中学
保護者、生徒とも居所不明	0	0
保護者とは接触できるが、本人に会うことができず、その状況が把握できない。	14	30
保護者や児童生徒が調査に応じられる状況にない。	21	25
フリースクール等の学校以外の施設に通所	190	104
病気・入院等により調査ができない。	2	2
その他	14	8
合計	241	169

令和7年度いじめ調査(1回目)の結果について(府立特別支援学校・高等学校)

1 アンケート調査の状況

(1) 対象児童生徒数等

(単位:人)

	在籍者数	調査数	在籍者に占める割合	家庭訪問等による調査(内数)	未調査数	在籍者に占める割合	前回から連続して未調査の数(内数)
高 校	27,969	27,889	99.7%	30	80	0.3%	0
特別支援	1,822	1,811	99.4%	14	11	0.6%	3
合計	29,791	29,700	99.7%	44	91	0.3%	3

(2) アンケート方法

(単位:校)

	高 校		特別支援学校	
	府様式	独自様式	府様式	独自様式
記名式	41	5	11	1
無記名式	0	0	0	0
合計	41	5	11	1

2 認知件数及び解消・未解消件数

(単位:件)

	認知	解消	未解消			重大事態		認知	解消	未解消			重大事態
			見守り	要支援	要指導					見守り	要支援	要指導	
高校(全日制)	166	9	83	29	45	1	特別支援(C)	104	7	58	10	29	0
高校(定時制)	14	1	6	6	1	0	R6/1回目(D)	84	10	42	18	14	0
高校(通信制)	0	0	0	0	0	0	(C)-(D)	20	▲ 3	16	▲ 8	15	0
高校合計(A)	180	10	89	35	46	1							
R6/1回目(B)	210	12	90	61	47	1							
(A)-(B)	▲ 30	▲ 2	▲ 1	▲ 26	▲ 1	0							

児童生徒1,000人当たりの認知件数		R7/1回目(E)	R6/1回目(F)	(E)-(F)
	高校	6.5	7.4	▲ 0.9
	特別支援学校	57.4	31.1	26.3

3 いじめの態様

(単位:件)

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	合計
高校(全日制)	113	23	12	3	5	10	9	16	12	203
高校(定時制)	9	2	1	1	0	0	0	1	0	14
高校(通信制)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高校合計	122	25	13	4	5	10	9	17	12	217
特別支援学校	46	7	17	20	1	11	15	2	14	133

※ いじめの態様については、複数回答可

- ① ひやかしやかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。
- ② 仲間はずれ、集団による無視をされる。
- ③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。
- ④ ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする。
- ⑤ 金品をたかられる。
- ⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。
- ⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。
- ⑧ パソコンや携帯電話・スマートフォンで、誹謗中傷や嫌なことをされる。
- ⑨ その他

4 未調査者の状況

(単位:人)

理由	全日制	定時制	通信制	特支学校
保護者、生徒とも居所不明	0	0	—	0
保護者とは接触できるが、本人に会うことができず、その状況が把握できない。	7	4	—	3
保護者や生徒が調査に応じられる状況にない。	15	2	—	5
フリースクール等の学校以外の施設に通所	0	0	—	0
進路変更(転学・退学)の手続き中である。	36	1	—	—
休学中、または休学の手続き中である。	3	1	—	—
施設に入所中である。	0	0	—	—
留学中である。	2	0	—	—
本人の心身が不安定なため、調査に応じられない。	3	0	—	—
病気・入院等により調査ができない。	6	0	—	3
その他	—	—	—	—
合 計	72	8	※	11

※ 通信制はスクーリング受講生徒のみを調査対象としている

＜参考＞
京都府いじめ調査の結果(令和5年度2回目～7年度1回目まで)について

1 対象児童生徒数

令和7年度										令和6年度										令和6年度										令和5年度									
学校種	学校数	在籍者数	調査数	1回目調査				学校数	在籍者数	調査数	2回目調査				学校数	在籍者数	調査数	1回目調査				学校数	在籍者数	調査数	2回目調査														
				家庭訪問による調査者数(内数)	未調査者数	前回から継続して未調査の内数(内数)	家庭訪問による調査者数(内数)				未調査者数	前回から継続して未調査の内数(内数)	家庭訪問による調査者数(内数)	未調査者数				前回から継続して未調査の内数(内数)	家庭訪問による調査者数(内数)	未調査者数	前回から継続して未調査の内数(内数)																		
小学校	194	53,574	53,333	84		241	158		194	54,819	54,564	120		255	201		194	54,777	54,544	79		233	103		198	55,937	55,676	82		261	182								
中学校	96	27,453	27,284	288		169	74		96	28,054	27,882	378		172	113		96	28,043	27,881	254		162	66		96	28,573	28,398	401		175	135								
高等学校	46	27,969	27,889	30		80	0		46	28,091	27,997	50		94	8		46	28,448	28,355	31		93	3		46	28,256	28,175	48		81	7								
特別支援学校	12	1,822	1,811	14		11	3		12	1,799	1,785	4		14	3		12	1,802	1,788	2		14	3		12	1,746	1,731	0		15	7								
計	348	110,818	110,317	416		501	235		348	112,763	112,228	552		535	325		348	113,070	112,568	366		502	175		352	114,512	113,980	531		532	331								

2 認知・解消件数

令和7年度										令和6年度										令和6年度										令和5年度									
1回目調査										2回目調査										1回目調査										2回目調査									
学校種	認知 件数	解消 件数	未解消			重大事態	認知 件数	解消 件数	未解消			重大事態	認知 件数	解消 件数	未解消			重大事態	認知 件数	解消 件数	未解消			重大事態															
	1,000 人比	解消 率	見守り	要支援	要指導		見守り	要支援	要指導	見守り	要支援		要指導	見守り	要支援	要指導	見守り		要支援	要指導																			
小学校	8,449	25	6,128	1,225	1,071	0	7,615	123	5,399	1,031	1,062	0	8,971	34	6,542	1,143	1,252	0	7,702	173	5,398	1,035	1,096	0															
	158.4	0.3%					139.6	1.6%					164.5	0.4%					138.3	2.2%																			
中学校	984	9	692	151	132	0	786	24	529	116	117	0	899	4	636	146	113	0	833	58	535	141	99	0															
	36.1	0.9%					28.2	3.1%					32.2	0.4%					29.3	7.0%																			
高等学校	180	10	89	35	46	1	162	10	67	38	47	3	210	12	90	61	47	1	185	12	91	54	28	2															
	6.5	5.6%					5.8	6.2%					7.4	5.7%					6.6	6.5%																			
特別支援学校	104	7	58	10	29	0	70	10	38	10	12	0	84	10	42	18	14	0	71	7	42	11	11	0															
	57.4	6.7%					39.2	14.3%					47.0	11.9%					41.0	9.9%																			
計	9,717	51	6,967	1,421	1,278	1	8,633	167	6,033	1,195	1,238	3	10,164	60	7,310	1,368	1,426	1	8,791	250	6,066	1,241	1,234	2															
	88.1	0.5%					76.9	1.9%					90.3	0.6%					77.1	2.8%																			